

平成28年度事業実施状況及び 平成29年度事業実施予定

〔文化芸術振興課〕

1 平成28年度事業実施状況

(1) 文化振興事業

ア 文化祭の実施

市民文化の振興を図るため、高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2016を開催し、文化活動の発表の場を作るとともに、関係団体の相互交流及び作品鑑賞の機会づくりに努めた。

また、各地域コミュニティセンター等を中心に、地区文化祭を実施した。

○市民文化祭「アーツフェスタたかまつ2016」

(ア) 期間 平成28年5月28日(土)～7月10日(日)

(イ) 内容 オープニング事業、コンサート(クラシック、邦楽等)、ダンス(フラダンス、フラメンコ等)、日本舞踊、民謡、演劇、和太鼓演奏、美術展など、オープニング1事業、主催15事業、後援3事業

イ 文化団体の育成・活動助成

各分野における文化関係の団体の自主的な運営並びに広く市民に公表する文化団体の自主的な事業に対して助成を行った。

- ・文化芸術活動の一部助成
- ・文化事業の共催・後援
- ・「文化たかまつ」の編集・発行助成

ウ 高松市文化奨励賞の贈呈

高松市文化芸術振興計画(平成27年3月策定)に基づき、高松市文化奨励賞については、新人部門、顕彰部門の2つの部門で選考した。

【新人部門】

該当なし

【顕彰部門】

青山夕夏(音楽)／山下晴義(金属工芸)

エ 優良芸術の鑑賞

(ア) 学校巡回芸術教室

小・中学校の児童・生徒を対象に、文化団体の協力を得て、生の優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供した。

- a 開催時期 平成28年6月～平成28年12月
- b 開催校 21校
- c 鑑賞者数 9,876人

(イ) 学校巡回能楽教室(能楽、狂言、囃子)

小・中学校の児童・生徒を対象に、生の古典芸能を鑑賞する機会を提供した。

- a 開催時期 平成28年11月
- b 開催校 6校

c 鑑賞者数 3,617人

(ウ) デリバリーアーツ事業

音楽・舞踊等を出前することによって、広く市民に身近で、文化芸術に触れることのできる場を提供した。

a 対象 一般

b 内容 クラシック音楽会、太鼓演奏会、古典落語、金管五重奏、トルンコンサート、影絵劇の6メニューで実施。

c 開催時期 平成28年7月～11月

d 開催箇所 16か所 (さぬき市開催1か箇所を含む)

e 鑑賞者数 1,657人

(エ) 劇団四季ミュージカル「こころの劇場」開催事業

子どもたちの心に「生命の大切さ」、「人を思いやる心」、「信じあう喜び」など、人が生きていく上でもっとも大切なものを舞台を通じて語りかける、財団法人舞台芸術センターと劇団四季による公演を瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の児童を対象に実施した。

a 実施日 平成29年2月14日(火)・15日(水)・16日(木) 各2回公演
(16日のみ1回公演)

b 場所 サンポートホール高松 大ホール

c 内容 劇団四季ミュージカル「王子とこじき」の公演

d 参加者 市内及び周辺1市5町(さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町)の小学校6年生及び引率教員等 5,303人

オ 音の祭り

邦楽を中心とした水準の高いコンサートを開催することで生の文化芸術に触れる機会を提供した。

(ア) 開催時期 平成28年9月25日(日)

(イ) 開催場所 高松国分寺ホール

(ウ) 鑑賞者数 420人

(エ) 出演者 ブラック・ボトム・ブラス・バンド、讃岐国分寺太鼓保存会、讃岐国分寺子供太鼓、国分寺ジュニア合唱団

カ ものづくりふれあい教室

小・中学校の児童生徒を対象に、手づくりでものづくりにチャレンジしながら、いかにものが大切かを体験し、文化の創造に関心を深める機会を提供した。

(ア) 開催時期 平成28年5月～29年3月

(イ) 内容 洋裁、和裁、マスコット人形づくり、手芸など

(ウ) 参加者数 21校(28回) 1,025人

キ 地域文化事業推進補助

NPO法人アーツカウンスル高松が行う次世代を担う人材育成を目指した事業等の一部を助成し、地域における文化活動のすそ野拡大と幅広い事業の展開を支援した。

ク 瀬戸内国際芸術祭推進事業

瀬戸内国際芸術祭の円滑な推進を図るため、本市から3名の職員を、同芸術祭実行委員会事務局に引き続き派遣するほか、2名の非常勤嘱託職員を雇用し、高松市独自のPR情報誌（めぐると高松）を制作し、より一層の芸術祭事業の連携・推進を図るとともに、芸術祭の夏・秋会期には、屋島山上に新規作品を設置し、内陸部への観光客等の誘導を図った。

また、瀬戸内国際芸術祭実行委員会と連携し、本市会場の案内所運営や高松港での来場者応対等にあたり芸術祭の成功に向けた積極的な取組みを進めた。

ケ “瀬戸の都・高松” 石彫トリエンナーレ事業

10回目の開催となった石彫トリエンナーレ2015を節目として、今後の展開については、関係者間で協議する予定。

コ 0才からのコンサート事業

0才から3才くらいまでの子どもと一緒に保護者（妊婦を含む）が楽しめるクラシック・コンサートを実施した。

(ア) 開催時期 平成28年6月25日（土）、9月22日（木・祝）、
11月23日（水・祝）、平成29年3月11日（土）

(イ) 開催場所 高松市美術館、玉藻公園披雲閣、
瓦町FLAGアートステーション、高松市こども未来館

(ウ) 鑑賞者数 559人

(エ) 出演者 瀬戸フィルアンサンブル

サ アートディレクター推進事業

文化芸術を軸にプランニングできる人材として、演劇家である多田淳之介氏をアートディレクターとして委嘱。市内の文化芸術団体とのネットワーク作りを行うこととし、平成28年度末からアートステーションを拠点として、地域におけるアートを軸としたワークショッププログラムの開発、実践、人材育成を目指し「高松ワークショップLab.」を発足した。

シ アーティスト・イン・レジデンス事業

市内の活用されていない資源（空き家、廃校、商店街の空き店舗等）を活用し、国内外から招聘した3組のアーティストが一定期間滞在しながら、地域のつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働を生み、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成を図った。

アーティスト	YORIKO	黒田 大輔	ブルーエゴナク
タイトル	高松私立おやこ小学校	「といきのまち」 「西をむいている 東にかたむいている」	商店街探索劇 「まほうは消えない。」
滞在期間	10月7日～ 12月8日	11月1日～ 1月30日	9月20日～24日 10月11日～14日 2月6日～15日
場所	仏生山町	中央卸売市場・兵庫町 商店街・市美術館・ア ートステーション	南新町商店街・常磐町商 店街・田町商店街・JR 高松駅前広場

また、県内外の小学生・中学生が大島で宿泊しながら、ハンセン病の歴史を学ぶとともに、アーティストによる音楽や演劇、美術のワークショップに参加する「大島に行こう！アートと自然を楽しむサマーキャンプ」を実施した。その際、子どもたちの声を録音し、大島青松園の入所者を対象に、島内で月1回放送される「ラジオ番組『大島アワー』」の番組に取り入れた。

ス まちなかパフォーマンス事業

音楽やパフォーマンスなど文化芸術による交流を創出し、都市ブランドを高め、人々の交流、まちの活性化を図った。

(ア) 観覧者数

- (a) TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 20,870人
- (b) サンポートオータムジャム 1,500人
- (c) 高松フラストリート 9,300人
- (d) 街クラシック in 高松 1,670人
- (e) 高松大道芸フェスタ 54,500人

(2) 文化芸術ホール

ア 文化芸術ホールの管理運営

(公財) 高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として、当該ホールの効果的な管理運営に努めた。

イ 文化芸術ホールの自主事業

文化芸術ホールの指定管理者である(公財)高松市文化芸術財団が実施する自主事業に要する経費の一部を補助することにより、文化芸術の振興・普及事業の推進に努めた。

主催事業(9事業)

(単位:人)

公演名	実施日	使用ホール	入場者数
オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「フォーエヴァー プラッド」	5月12日	大ホール	1,051
演劇どっどこむ(ワークショップ)	8月17日～21日	リハーサル室	20
新国立劇場バレエ団こどものためのバレエ劇場「白鳥の湖」	9月19日	大ホール	1,385
瀬戸フィルハーミータイムコンサート	10月2日	第2小ホール	218
中村恩恵と首藤康之によるクラシックバレエとコンテンポラリーダンスのワークショップ	11月5日・6日	リハーサル室	47
親子のためのクラシックコンサート 音楽の絵本～ブリランテ～	12月11日	大ホール	1,484
NHK全国放送公開番組「みんなDEどーもくん！」	1月15日	大ホール	1,115
高校演劇フェスティバル	2月12日	第1小ホール	282

サンポート狂言会	3月28日	大ホール	766
計			6,368
共催事業（1事業）			(単位:人)
公 演 名	実 施 日	使用ホール	入場者数
こころの劇場	2月14日～16日	大ホール	5,303
計			5,303
基金事業（3事業）			(単位:人)
公 演 名	実 施 日	使用ホール	入場者数
こどもの日のこどものためのコンサート	5月5日	第2小ホール	350
高校生鑑賞教室 ニッセイ名作シリーズ オペラ「セビリアの理髪師」	9月27日	大ホール	1,333
第6回サンポートホール高松『デビュー リサイタル』	3月4日・5日	第1小ホール	539
計			2,222

(3) 高松国分寺ホール

ア 高松国分寺ホールの管理運営

日本管財・JTB コミュニケーションズ共同事業体を高松国分寺ホールの指定管理者として、当該ホールの効果的な管理運営に努めた。

イ 高松国分寺ホールの自主事業

高松国分寺ホールの指定管理者である日本管財・JTB コミュニケーションズ共同事業体
が実施する自主事業に要する経費の一部を補助することにより、市民の創造的な文化芸術
活動の推進と交流を図り、市民文化の発展の推進に努めた。

公 演 名	実 施 日	入場者数
演劇プログラム	4月8日、5月20日、6月10日、 7月8日、8月12日	30
国分寺寄席（落語会）	4月16日	250
国分寺先生「カメレオン・爬虫類」、「運 勢・開運」、「メダカ」、「コピーライタ ー」、「お話し・朗読」	4月23日、5月3日、6月4日、 8月11日、11月5日	330
昭和レトロ展	4月30日～5月5日	400
うたごえホール	5月1日	250
国分寺マルシェ&みんなのステージ	5月3日	500
早朝太極拳	5月29日～11月27日	120
うたごえホール	6月11日	250

こす☆ぶんじ	6月25日	100
絵本コンサート	7月10日	400
国分寺アニメフェスティバル	7月23日	150
子ども演劇プログラム	7月26日	90
一夜限りのピアガーデン	7月30日	100
映画「葛監督」上映会	8月6日	350
夏休み親子工作教室	8月6日	50
手づくりフェア	8月7日	300
バックステージツアー	8月7日	20
被爆ピアノコンサート	8月27日	200
国分寺アートギャラリー	9月～12月	1,000
観月コンサート	9月15日	100
やなせななハートフルコンサート	9月18日	200
国分寺マルシェ&音の祭り	9月25日	1,000
国分寺寄席(ゲスト・桂雀太)	10月1日	250
ウィナーオペレッタをあなたに	10月2日	250
岡林信康弾き語りライブ	10月7日	300
ムーンナイトコンサート	10月8日	100
演奏者派遣	10月14日	400
趙磊二胡コンサート	10月15日	300
映画上映会「人生いろどり」	12月3日	250
こす☆ぶんじⅡ	12月11日	100
クリスマスコンサート	12月17日	450
あそびうたまつり	12月18日	350
宝塚歌劇レビューショー	1月22日	350
直島女文楽	1月28日	450
ピアノリレーコンサート	2月19日	250

高松国分寺ホール舞台芸術祭	3月11日	400
計		10,390

(4) 瓦町アートステーション

市民アート広場として多目的な空間やギャラリーを設置し、市民の文化芸術活動及び交流を図るとともに中心市街地のにぎわい創出のため、平成27年10月23日の瓦町FLAGグラウンドオープンに合わせて、8階に整備した市民交流プラザIKODE瓦町内に開所した。多目的スタジオ、練習用スタジオ、クリエイティブルーム及びギャラリーの市民等への貸館を実施した。

2 平成29年度事業実施予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
瀬戸内国際芸術祭推進事業	<p>文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置づけて、県・関係市町及び福武財団等とともに開催する瀬戸内国際芸術事業を28年度に引続き推進する。</p> <p>本市としても、瀬戸内国際芸術祭高松市庁内推進本部を中心として、芸術祭の成功に向け、積極的な取組みを進める。</p> <p>【開催期間】 29年度は、「ART SETOUCHI 2017」を開催する。(通年)</p> <p>【会場】 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、栗島、伊吹島、高松港・宇野港周辺</p>	5,600	
まちなかパフォーマンス事業	<p>市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベントを実施する。</p> <p>【予定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかコンサート事業 <ul style="list-style-type: none"> ①TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ②サンポートオータムジャム ③高松フラストリート ④街クラシック in 高松 ・たかまつ大道芸フェスタ事業 	9,000	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
文化芸術活動助成事業	<p>地域に根ざした創造的な文化芸術の振興と発展に寄与することを目的に、「高松市文化芸術活動補助金交付要綱」を定め、市内に所在又は、活動の本拠を有する文化芸術団体が、市内において文化芸術活動を広く市民に公表する事業の一部を補助することで、市民の自主的な文化芸術活動を促進する。</p> <p>また、通常の文化芸術活動事業に比べて、その内容や規模を拡充して実施する記念・周年事業に対する補助も引き続き実施する。</p>	7,868	
文化奨励賞事業	<p>本市を中心に活動し、本市における文化の振興に貢献し、将来においてさらにその活躍が期待される方を選考し、顕彰部門（2名以内）・新人部門（2名以内）の2部門に分けて表彰する。</p>	585	
市民文化祭事業	<p>文化芸術団体等の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民自らが主体的に文化芸術事業を企画・実施する市民企画提案型事業「アーツフェスタ」の開催と、各地区の特性を生かした公民館活動等の学習発表や作品展示を行う合併町地区の文化祭の開催を支援する。</p> <p>アーツフェスタたかまつ2017は、5月27日から7月2日まで開催。</p>	7,771	
デリバリーアーツ事業	<p>市民の希望するところに音楽、舞踊、古典芸能等の文化芸術を出前して、市民が身近なところで優良な文化芸術に触れる機会を提供する。</p> <p>クラシック音楽会、太鼓演奏会、古典落語、金管五重奏、糸あやつり人形劇、サーカスキャラバン、尺八演奏の7メニュー15公演で開催予定。</p> <p>瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の連携事業として、さぬき市、東かがわ市でも公演予定である。</p>	4,526	
学校巡回芸術教室・能楽教室事業	<p>小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供する。</p>	6,377	
ものづくりふれあい教室事業	<p>小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、いかにものが大切かを体験する機会を提供する。</p>	480	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
0才からのコンサート事業	0才から3才くらいまでの子どもと一緒に保護者(妊婦を含む)が楽しめるクラシック・コンサートを実施する。年間、4回開催予定である。	1,000	
音の祭り開催事業	邦楽の要素を取り入れた水準の高いコンサートを開催することで、生の文化芸術に接する機会を提供する。 29年度は、9月24日に高松国分寺ホールで開催予定。	1,900	
劇団四季ミュージカル「こころの劇場」開催事業	劇団四季による「こころの劇場」ミュージカル公演を開催し、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の児童を招待し、優良な文化芸術鑑賞の機会を提供する。 公演は、30年2月20日(火)～22日(木)の3日間5公演を予定。 29年度は、高松市、さぬき市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町、附属高松小学校の小学生を対象とする。	1,135	
文化芸術ホール管理運営事業	文化芸術の拠点施設であるサンポートホール高松の指定管理者である公益財団法人高松市文化芸術財団に施設管理や、情報誌発行、ホームページの運用、ホール等を利用した創造発信・人材育成・舞台鑑賞・参加交流・教育普及などの各種事業を行わせることで、本市における文化芸術の振興普及を図る。	547,841	
高松国分寺ホール管理運営事業	西部地域の新たな文化芸術の創造拠点として整備した高松国分寺ホールの指定管理者である日本管財・JTBコミュニケーションズ共同事業体に、施設管理、自主事業などを行わせることで、本市の創造的な文化芸術活動の推進と交流を図る。	39,811	
高松国際ピアノコンクール事業	高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進を目的として4年に一度開催しており、今年度が第4回の開催となる。	25,055	
高松国際ピアノコンクール推進事業	第4回高松国際ピアノコンクールの開催に併せ、同コンクールの審査員・入賞者等のリサイタルや公開レッスン、地域での無料演奏会等を実施し、開催への機運を高めるとともに、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう事業推進する。	750	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
アーティスト・イン・レジデンス事業	アーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働や地域の賑わいを創出するとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成につなげる。	5,026	
アートディレクター推進事業	文化芸術を軸にプランニングできる人材を配置することで、本市の文化事業を俯瞰的かつ集約的にマネジメントするとともに、本市の文化芸術施策の展開を図る。	2,706	
さぬき映画祭事業	香川県、宇多津町、綾川町等とともに実行委員会に参画し、映画上映やゲストトーク、著名な監督など映画制作関係者の招聘、演劇公演を行うことで、地域文化の振興及び地域の活性化を図る。	1,000	
瓦町アートステーション管理運営事業	ことでん瓦町ビル8階を高松市が市民交流プラザ IKODE 瓦町として整備し、その一部を文化芸術の活動スペースとして貸館等の管理運営を行うことで、交通の結節点において創造的な文化芸術活動の推進と交流を図る。	11,642	

〔文化財課〕

1 平成28年度事業実施状況

(1) 史跡高松城跡（玉藻公園）

ア 玉藻公園の管理運営

香川県造園事業協同組合を玉藻公園の指定管理者として、玉藻公園の効果的な管理運営に努めるとともに、平成28年度から利用料金制を導入した。

イ 玉藻公園の整備

玉藻公園西側用地について、前年度に引き続き高松市土地開発公社からの買戻しを行うとともに、周辺環境の整備に努めた。

ウ 桜御門の復元整備

昨年度に引き続き、石垣の傷みが認められた桜御門石垣の積直し工事を行い、史跡の環境整備に努めた。また、昨年度からの繰越事業として、重要文化財の消火設備改修工事を完了した。

(2) 文化財の保護

ア 文化財の調査

史跡石清尾山古墳群に近接する稲荷山姫塚古墳ほか2基の積石塚の追加指定を目指して、昨年度に引き続き稲荷山北端1号墳及び稲荷山1号墳の発掘調査を実施した。また、市指定史跡勝賀城跡において、内容確認のための発掘調査を実施した。

イ 文化財の保存・管理

重要文化財小比賀家住宅改修事業等に助成するなど文化財管理及び保存伝承活動等に要する経費の一部助成を行うとともに、史跡地の除草等を行い文化財の保存・管理に努めた。

また、讃岐国分尼寺跡の土地を購入し、公有地化を進めた。

ウ 文化財の公開・活用

ふるさと探訪（史跡等探訪行事）を年10回開催するなど、文化財の公開・活用に努めた。

（参加者総数 950 人）

また、石清尾山古墳群の調査成果等の情報発信のために連載講座（年間6回）をサンクリスタル高松視聴覚ホール等で開催した。（参加者総数 405 人）

埋蔵文化財センターほか高松市コミュニティ協議会連合会、創造支援センターが置かれている四番丁スクエアの施設管理を行った。

(3) 歴史資料館事業実績

本市の歴史・考古・民俗等に関する資料の収集・保管・調査研究を行うとともに、展示及び情報の提供並びに教育普及活動を実施した。

ア 平成28年度利用者数等

(ア) 総利用者数 32,155 人

(イ) 総観覧者数 26,417 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 2,765 人

(イ) 企画展及び収蔵品展 開催展数 4 展／開催日数 182 日間／観覧者数 7,161 人

展覧会名	会期	観覧者数	内 容
収蔵品展 「高松藩・狩野派！ー御用 絵師とその周辺ー」	4/23～6/26 (52 日間) 5/23～5/27 は、 展示入替の ため閉室	1,961 人 (有料 462 人)	将軍家御用絵師となった江戸狩野の流れを受け、高松藩の御用絵師として活躍した狩野派の絵師たちの作品を展示・紹介した。
瀬戸内国際芸術祭 2016 パートナーシップ事業 第 71 回企画展 「心を豊かにするデザイ ンー讃岐民具連とその時 代ー」	7/16～9/4 (44 日間)	2,199 人 (有料 868 人)	香川に新しい建築や芸術作品がたくさん生まれた 1950 年～1960 年代にスポットをあて、芸術作品だけでなく讃岐民具連や建物の中にあるインテリア・パッケージなど、さまざまな分野のデザインとその局面を展示・紹介した。
第 72 回企画展 片山冲堂生誕 200 年記 念「高松藩校講道館」ー後 藤芝山から片山冲堂まで ー	11/5～12/18 (38 日間)	1,484 人 (有料 164 人)	江戸時代、高松藩が藩士の子弟の教育のために設立した教育機関である講道館や、明治維新以降の高松の教育において尽力した人々について展示・紹介した。
収蔵品展 「奥の坊遺跡の世界ー弥 生時代の屋島周辺を考え るー」	2/4～4/9 (48 日間) 3/31 までの 日数	1,517 人 (有料 411 人) 3/31 までの 観覧者数	東部運動公園整備事業に伴う調査により発見された、奥の坊遺跡について展示・紹介した。

(ウ) 学習室展示 観覧者数 1,248 人(再掲。収蔵品展「奥の坊遺跡の世界ー弥生時代の屋島周辺を考えるー」開催期間中のため、観覧者数には計上しない。)

歴史資料館学習室を利用した展示を行った。

展示名	会期	観覧者数	内 容
376 年ぶりの里帰り 生駒親正甲冑展	2/21～4/9 (34 日間) 3/31 までの日数	1,248 人 3/31 までの 観覧者数	376 年ぶりに、秋田県由利本荘市矢島町にある生駒家菩提寺の龍源寺から、生駒親正夫妻の墓所がある高松市の弘憲寺に移された甲冑(生駒親正が身につけたと伝えられる)を展示・紹介した。

(エ) ロビー展 開催展数 10 展／観覧者数 16,491 人

歴史資料館エントランスホールを利用したロビー展を開催した。

展示名	会期	観覧者数	内 容
復興を支える仕事 ー発掘調査とおした東 日本大震災の被災地支援 ー	27/12/22～ 4/28 (24 日間) 4/1 からの日数	771 人 4/1 からの 観覧者数	東日本大震災の復興支援として宮古市に派遣された文化財専門員の活動の様子(復興事業に伴う埋文調査)を写真パネルで紹介した。
天満・宮西遺跡出土の銅鐸	4/29～5/15 (15 日間)	822 人	天満・宮西遺跡から出土した銅鐸を、報道発表に合わせて速報・展示した。
おいしいさかなのかたち	5/17～7/10 (48 日間)	2,305 人	さかなの郷土玩具等を展示した。
工芸高校クリエイト 7	7/12～9/11 (56 日間)	3,476 人	第 71 回企画展に合わせて、高松工芸高等学校 7 学科の生徒が共同プロジェクトで創作したオリジナル作品を展示した。

菊池寛記念館ロビー展 宮沢賢治版画かるた	9/13～11/3 (45 日間)	3,270 人	菊池寛記念館ロビー展として、版画かるたを展示した。
宮沢賢治の故郷 花巻のこけし	9/17～11/3 (41 日間)	(3,137 人) 上記日程内の ため観覧者数 計上しない	菊池寛記念館第25回文学展「生誕120年記念宮沢賢治」に合わせ、花巻のこけしを展示した。
天満宮と天神さん	11/4～12/18 (39 日間)	2,335 人	第72回企画展に合わせ、天満宮と天神さん(菅原道真)に関する郷土玩具や民芸品を展示した。
とりとりどり	12/20～2/3 (35 日間)	1,204 人	干支の酉にちなんで、いろいろな酉の民具を展示・紹介した。
ドキドキ土器パズル	2/4～4/9 (48 日間) 3/31 までの日数	2,308 人 3/31 までの 観覧者数	収蔵品展に合わせ、ばらばらになった土器を組み合わせて、接合体験をしていただいた。
KAWARA	2/21～4/9 (34 日間) 3/31 までの日数	(1,767 人) 上記日程内の ため観覧者数 計上しない	個人収集家から一括寄贈された古瓦資料の中から、白鳥廃寺(東かがわ市)の瓦を展示した。

ウ 教育普及活動 参加者数 5,680 人

子ども対象のプログラムほか、企画展に併せて、展示テーマに沿った記念講演会などを開催し、歴史資料への興味関心を深めていただいた。

(ア) サンクリスタル学習 3,194 人

歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の3館合同で、市内小学生を対象にした体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。平成26年度から、午後からの補助学習として屋島学習を行っており、屋嶋城等の見学を行った。(6校 525人)

a 参加校数 延べ38校(校外学習4校を含む)

b 参加者 3,194人(児童3,027人、引率者167人)

(イ) 子ども向けのプログラム 457 人

講座名	開催日	参加者数	内 容
夏休み・こども歴史講座 「デザイン+ (プラス) まちあるき」	夏休み (計2回)	延べ19人 (補助者含む)	第71回企画展関連イベントとして開催し、高松市中心部にある建築デザインやアートの見どころを紹介した。対象：小学生の親子
歴史クイズにチャレンジしよう!	春・夏・冬休み	延べ398人	歴史クイズで歴史や資料館に親しんでもらった。対象：中学生以下
収蔵品展ワークショップ 「狩野派の絵師体験・筆でかたちを表現しよう!」	6/12	9人	講師：田淵元博氏(寒川高校教諭) 狩野派の版画を手本に、線を筆でなぞりながら狩野派の筆遣いを体験してもらった。対象：小学生
収蔵品展ワークショップ 「弥生人の美的センスを感じよう」	2/19 3/26	31人	土器の模様を紙に写し取り、しおりやブローチを作成してもらった。対象：小学生

(ウ) 古文書講座 386 人

講座名	開催日	参加者数	講師	内容
古文書講座	8月～3月 (計7回)	延べ386人	三谷敏雄氏 (元高校教諭)	生活に密着した古文書を題材に取り上げ、講師と参加者が一緒に読みながら、古文書に親しんでもらった。

(エ) 市政出前ふれあいトーク (デイサービス施設等) 4回 169 人

(オ) 展覧会関連イベントほか 581 人

講座名	開催日	参加者数	講師	内容
ロビー展関連ワークショップ 「鑄造体験」	5/15	22人	市埋蔵文化財センター文化財専門員	ロビー展に合わせ、市埋蔵文化財センターの体験キットを利用した鑄造体験ワークショップを行った。
収蔵品展ミュージアムトーク	計10回	延べ78人	企画展担当者及びサポーター	展覧会場における展示解説を行った。
第71回企画展ミュージアムトーク+ (プラス)	7/16	18人	永見宏介氏 (榊製作所社長)	展示室内で展示物や展示にまつわる人物のエピソード等を紹介いただいた。
第71回企画展ワークショップ 「デザイン+ (プラス) まちあるき」	7/29 8/19	28人	企画展担当者	第71回企画展関連イベントとして開催し、高松市中心部にある建築デザインやアートの見どころを紹介した。
第71回企画展ミュージアムトーク+ (プラス)	7/30	20人	竹内守善氏 (香川県知事公室地域振興参与)	展示室内で展示物や展示にまつわる人物のエピソード等を紹介いただいた。
第71回企画展実演&ワークショップ 「邦坊さんと三郎さんの木版画を刷る」	8/6	20人	尾形恭介氏 (版画家)	第71回企画展関連イベントとして開催し、貴重な版木を刷る実演と、版木を実際に刷るワークショップを行った。
第71回企画展ミュージアムトーク+ (プラス)	8/20	21人	松岡久二子氏 (まいまい亭女将)	展示室内で展示物や展示にまつわる人物のエピソード等を紹介いただいた。
第71回企画展ミュージアムトーク+α (プラスアルファ)	8/26	40人	岡本仁氏 (元マガジンハウス「ブルータス」編集長)	展示室内で展示物や展示にまつわる人物のエピソード等を紹介いただいた。
第71回企画展ミュージアムトーク	計8回	延べ83人	企画展担当者及びサポーター	展覧会場における展示解説を行った。
第72回企画展講演会 「藩校講道館と片山冲堂」	11/5	30人	太田剛氏 (四国大学書道文化学科教授)	藩校講道館に教授や塾生として関係した人々と、その中でも幕末に最後の講道館の責任者を務めた片山冲堂について紹介いただいた。
第72回企画展講演会 「講道館孔子像顛末」	11/6	25人	田山泰三氏 (英明高校教諭)	講道館で儒学のシンボルとして祭祀されていた孔子像が明治時代に流出し、藤井寺天満宮移されて現在に至っている経緯を紹介いただいた。

第72回企画展講演会 「後藤点について」	11/20	30人	石川洋子氏 (同朋大学文学部教授)	後藤芝山が考案し、現在の漢文訓読の標準型となっている後藤点について、その長所や後世に受け容れられた経緯を紹介いただいた。
第72回企画展関連イベント 「水任流保存会記念遊泳」	11/23	60人	水任流保存会	玉藻公園内堀にて、水任流遊泳を披露していただいた。
第72回企画展講演会 「藩校講道館の系孫岡内清太と香川県育英会百十年の歩み」	12/10	36人	出石一雄氏(香川県育英会業務執行理事) 日詰裕雄氏(香川県育英会監事)	藩校講道館の教育精神を受け継いで、明治以降の県下の高等教育の充実に取り組んできた、香川県育英会の歩みについて紹介いただいた。
収蔵品展ミュージアムトーク	計8回 3/31までの回数	延べ70人 3/31までの参加者数	企画展担当者及びサポーター	展示会場における展示解説を行った。

(カ) サポート事業 延べ 309人

事業名	開催日	参加人数	内 容
サポーター例会等	計23回	延べ130人	瓦のロビー展示や企画展ポスター等発送作業・資料整理等をした。
ワークショップ等参加	計5回	14人 (再掲)	夏休みこども歴史講座やサンクリスタル学習参加者の補助等をした。
ミュージアムトーク	計14回	14人 (再掲)	展示会場における展示解説を行った。
古文書ボランティア	計24回	延べ179人	収蔵資料の解読とデータ化を進めた。

(キ) 共催事業 584人

事業名	開催日	参加者数	内 容
讃岐村塾(友の会)事業	5/28~3/25 (計11回) 第4土曜日ほか	延べ584人	毎回テーマごとに大学・地域の研究者など講師を招き、講演会・県外研修(兵庫県淡路島)等を行った。

- エ 資料館施設利用者数 58人
- 文化財保護審議会委員等 32人
- サンクリスタル学習説明会参加者 26人

オ 資料収集

(ア) 常設展示資料(単位:点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映像	模型	合計
200	50	50	28	8	336

(イ) 平成28年度収集資料 購入6点、寄贈・移管209点、寄託0点 合計215点

(ウ) 平成28年度末収蔵資料内訳(単位:点)

歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	玩具資料	伝統工芸資料	合計
28,926	12,706	3,619	5,446	4,627	194	55,518

(4) 石の民俗資料館事業実績

石と人間のかかわりの文化を継承し、資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験

学習などの教育活動を実施した。

ア 平成28年度利用者数等

(ア) 総利用者数 51,973 人

(イ) 総観覧者数 15,417 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 5,149 人

(イ) 企画展 開催展数 6 展／開催日数 202 日間／観覧者数 8,295 人

展覧会名	会期	観覧者数	内容
高松の伝統工芸 ～伝統工芸を守ること～	4/23～6/12 (44 日間)	2,205 人 (有料282人)	高松に継承されている伝統的工芸品を、高松市歴史資料館所蔵品を中心に展示するとともに、現在すでに見られなくなった伝統的工芸品等を展示した。
第30回 思可牟展	7/23～9/4 (38 日間)	2,143 人 (有料264人)	香川県にゆかりのある京都市立芸術大学卒業生で結成された美術グループ「思可牟」のグループ展。漆芸・染織・陶芸・日本画・洋画・版画・現代美術など多岐にわたるジャンルの作品を展示した。
石の里のアーティストたち 「テーマ・庵治石」Part15 (屋外展示)	10/8～11/13 (32 日間)	1,360 人	庵治石の素材の良さを生かし、庵治・牟礼在住の石匠の里のアーティストたちが制作した、創造性豊かな石彫作品を展示した。
石とのコラボレーション企画 「匠雲の仲間たち」	10/8～11/13 (32 日間)	1,061 人 (有料166人)	県内で活躍する様々なジャンルの作家の協力のもと、庵治石、盆栽、陶芸、漆、鉄、金工の作品を紹介するとともに、石とのコラボレーションを見せる展示を行った。
さぬきアートプロジェクト ガボミレイ写真展 庵治ワールド!	1/7～2/12 (32 日間)	888 人 (有料434人)	写真家 GABOMI (ガボミ) 氏の写真展。庵治町になじみの深い庵治石を採る「丁場」をはじめ、庵治町にある「経年劣化していく人工物」そして「海と空」の3つをテーマに撮影した作品を紹介した。
手しごとの石工用具	2/28～3/26 (24 日間)	638 人	当館が所蔵する手しごとの時代に作られた様々な石質の石製品を中心に展示し、それを制作するために必要な採石用具や加工用具、さらにその用具を製作するうえで使用する鍛冶用具等を紹介した。

(ウ) ホール展・共催展 開催展数 7 展／開催日数 63 日間／観覧者数 1,973 人

展覧会名	会期	観覧者数	内容
萌 (めばえ) 展	4/1～4/10 (9 日間)	327 人	文化協会むれの指導者による書道・絵手紙・洋画・革工芸・和紙ちぎり絵・日本画等の作品を展示した。
水無月展	6/17～6/26 (9 日間)	435 人	文化協会むれに所属する、絵手紙同好会と桜華書道会の作品を展示した。
文月展	7/1～7/10 (9 日間)	194 人	文化協会むれに所属する、革の花同好会と草萌 <small>くきもえ</small> の作品を展示した。

長月展	9/16～9/25 (9日間)	297人	文化協会むれに所属する、絵を楽しむ会キャロットと墨友会の作品を展示した。
第15回 染色すなご会 手染めによる衣服・小もの展	11/18～11/27 (9日間)	203人	染色すなご会による、衣服、小もの等の「すなご染め」を軸に、各種の自由な技法で染め上げた作品を多数展示した。
師走展 (前期)	12/2～12/11 (9日間)	378人	文化協会むれに所属する、O's工房と和紙ちぎり絵同好会の作品を展示した。
師走展 (後期)	12/16～12/25 (9日間)	139人	文化協会むれに所属する、アキホ・タタと永和書道会の作品を展示した。

ウ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 4,260人

a 体験学習 25回 延べ 662人

(a) 夏休みなどにオリジナルアートづくりが体験できる「工作教室」等を開催した。

防災教室・ミニジオラマ・ミニ石あかり・ランプシェード等 10回 215人

(b) 展示関連に伴って開催したワークショップ・イベント等 6回 156人

制作体験「組手工作」・「銅版工作」等

アーティストトーク「石の里のアーティストたち」等

(c) 来館者の体験工作・市政出前ふれあいトーク 9回 291人

小学校・高等学校等

b 古文書講座 11回 166人

8月を除く毎月第2金曜日に開催した。講師 加藤 優氏(元徳島文理大学教授)

江戸時代の短冊を題材に取り上げ、参加者と一緒に読み、その後講師から解説文とその解説を受けた。

c 資料館コンサート等 7回 917人

コンサート等を通して資料館をもっと多くの人にPRするため、ロビーを利用して開催した。

石の民俗資料館友の会が中心の資料館コンサート5回(5月・7月・10月・12月・3月)、企画展関連のコンサート1回、落語会1回を開催した。

d その他(年間を通じ常時開催) 延べ 2,515人

ストーンハンティング(庵治石の小石の中から天然石を採る)や石deペイントなど、遊びを通して、石と触れ合う機会を設けた。

(イ) 公園利用者他 利用者数 32,296人

公園利用者数 12,396人

エントランス等利用者数 19,900人

エ 資料収集

(ア) 常設展示資料(単位:点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映像	模型	合計
454	26	19	10	5	514

(イ) 平成28年度収集資料 0点

(ウ) 平成28年度末収蔵資料内訳(単位:点)

歴史資料	民俗資料	考古資料	伝統工芸資料	自然科学資料	合 計
19	6,489	3	0	581	7,092

(5) 香南歴史民俗郷土館事業実績

高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施した。

ア 平成28年度利用者数等

(ア) 総利用者数 38,280 人

(イ) 総観覧者数 27,623 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者数 14,731 人

(イ) 企画展 開催展数 13 展／開催日数 267 日間／観覧者数 12,892 人

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
収蔵品ミニコレクション 展 郷土みやげ	3/26～4/10 (9 日間) 4/1 からの日数	137 人 4/1 からの 観覧者数	当館に収蔵している寄贈資料の約 150 点を展示紹介した。
第 11 回 城山まつり <small>じょうざん</small>	4/16～5/22 (32 日間)	1,360 人	郷土の儒学者「中山城山」ゆかりの品々を公開した。(共催)
第 38 回 香南さつき展	5/27～5/29 (3 日間)	610 人	香南さつき会メンバーが育てたさつきの盆栽を展示した。(共催)
第 11 回 わが家のお宝展 *え～もん・おもっしょい もん大集合！*	6/4～7/10 (32 日間)	963 人	市民から集められた自慢の品、他にない珍品など、ぜひ紹介したい「わが家のお宝」を一堂に展示した。
夏の企画展 のりもの☆ホビー展 ーのりたいな！Car・ Airplane・Trainー	7/17～8/28 (37 日間)	2,978 人	香川進空会の協力により、鉄道、乗り物の変遷をプラモで紹介した。
香川県資料館協議会巡回 展 守る・攻める 城と館	9/3～9/25 (20 日間)	619 人	香川県資料館協議会の巡回展として、県内の古城についてパネル展示するとともに地元由佐城の資料も合わせて展示した。
ロビー展 「暮らしの手帖展」	9/3～10/2 (26 日間) 企画展期間外 6 日	(企画展に 人数を含む)	館に寄贈のあった資料「暮らしの手帖」をロビーに展示した。
第 20 回 土遊会 陶芸展	10/1 10/2	395 人	土遊会メンバーによる手びねり成形の陶芸作品展。(共催)
第 17 回 香南文化交流展	10/10～10/16 (6 日間)	602 人	香南文化交流サロン会員による作品展。(共催)
槍・薙刀展 ー戦国の長柄武器ー	10/22～12/4 (38 日間)	2,632 人	日本美術刀剣保存協会の協力により、槍・薙刀を展示した。

【埋蔵文化財展】 やしまのき 屋嶋城のものがたり	12/10～1/15 (27 日間)	743 人	高松市埋蔵文化財センターの発掘速報を展示した。
第 16 回 篆刻展	1/20～2/15 (23 日間)	636 人	郷土館講座「篆刻教室」の受講生らの作品展。
第 16 回 郷土の文化拓本展	2/19～3/20 (26 日間)	1,062 人	郷土館講座「拓本と表装を楽しむ」の受講生らの作品展。
THE☆收藏品展 2017 —実はこんなものあるんです—	3/25～4/9 (6 日間) 3/31 までの日数	155 人 3/31 までの 観覧者数	当館に収蔵している寄贈資料を展示紹介した。

ウ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 5,985 人

a 郷土館講座 参加者数 871 人

一般市民を対象にした郷土館講座を開催した。

講座名	開催日	講師	参加者数	内容
古文書を読む	計 10 回	山下隆章氏 (三木町立白山小学校長)	延べ 92 人	古文書「由佐家文書・丸岡家文書」を題材に取り上げ、参加者と一緒に読む等、古文書に親しんでいただいた。
拓本と表装を楽しむ	計 10 回	側瀬照明氏 (香南拓本会会長)	延べ 110 人	文学碑などを拓本にとり、軸装・額装して、拓本展に向けた作品づくりを行った。
篆刻教室	計 10 回	宮本瑞邦氏 (日本篆刻家協会常任委員)	延べ 120 人	石に絵や文字を彫って、篆刻作品を制作した。
講演会 —尚志堂にあさが来た—	4/23	田山泰三氏 (英明高校教諭)	30 人	中山城山と尚志堂の関わり・あさが来たのドラマに合わせて講演を行った。
講演会 —中山城山『三教一帰論』を読む—	5/7	田山泰三氏 (英明高校教諭)	17 人	中山城山著の『三教一帰論』の解説を詳しく行った。
子ども講座 勾玉を作ろう	7/22	大嶋和則氏 (高松市埋蔵文化財センター文化財専門員)	45 人	柔らかい石を削ったり磨いたりして勾玉を作った。
子ども講座 親子お手玉教室	7/23	荒岡登代子氏 (古布のリメイク同好会代表)	28 人	古布を材料に昔ながらのあそび、お手玉を布で作成した。
子ども講座 化石のレプリカを作ろう	7/24	藤井明氏 (香川県サイエンスボランティア会員)	55 人	化石の型をとり、石膏を流し込んでレプリカを作った。
子ども講座 手習草子(書道教室)	7/29	香南歴史民俗郷土館職員	22 人	むかしの寺子屋で学んだように書道教室を行った。
子ども講座 プリザーブドフラワーを作ろう	7/30	多田美保氏 (Rinkahanakurabu 凜花主宰)	27 人	プリザーブドフラワーを使って木箱に花や粘土のオブジェを飾るアレンジを行った。

子ども講座 土鈴をつくろう	8/2	香南歴史民俗郷土館職員	40人	粘土を使い土鈴を作った。
子ども講座 土笛をつくろう	8/5	香南歴史民俗郷土館職員	46人	粘土を使い土の笛を作った。
子ども講座 化石のクリーニング	8/7	藤井明氏 (香川県サイエンスボランティア会員)	34人	鉱石の中からハンマーを使い植物や昆虫の化石を探す。
子ども講座 ミニ土偶をつくろう	8/10	香南歴史民俗郷土館職員	41人	粘土を使いミニの土偶を作った。
企画展関連子ども講座 プラモ(ミニ四駆)をつくろう	8/11	香川進空会会員	50人	企画展関連事業としてプラモデルミニ四駆を作成し、ゴーカートを使い実際走らせた。
竹細工で茶杓作り	11/23	三好正和氏 (鞆師)	15人	竹を加工し、茶道具の茶杓を製作した。
企画展特別講演会特別講演会 日本刀の魅力について	11/13	藤澤逸郎氏 (砥師)	43人	企画展「槍・薙刀展」に合わせて砥師を講師に講演会を行った。
干支(酉)の置物作り	12/11	丹久美子氏 (協力ボランティア)	15人	古布を使って酉の置物を作った。
歴史講座 屋嶋城のものがたり	1/7	渡邊誠氏 (高松市埋蔵文化財センター文化財専門員)	17人	発掘調査速報展にあわせて講演会と展示解説を行った。
讃岐かがり手まり教室	1/13	讃岐かがり手まり保存会	24人	草木染の糸をかがって、香川県の伝統工芸品である讃岐かがり手まりを製作した。

b その他の事業 参加者数 4,649人

事業名	開催日	講師等	参加者数	内容
月釜・茶会	4/17～3/19 (計11回)	川原宗津氏ほか	延べ 2,256人	月代わりの席主によるお茶席を行った。
天守閣開放	5/1～5/8 (7日間)	香南歴史民俗郷土館郷土館職員	234人	開館記念日(5/3)前後の日在天守閣を開放し、案内した。
職場体験 (塩江中学校・香川第一中学校2年生)	8/30・8/31 9/13～9/15 (5回)	香南歴史民俗郷土館郷土館職員	15人	職場体験として学芸員の仕事を指導した。
古本まつり	10/8～10/30 (20日間)	なし	1,727人	秋の読書週間にあわせて、市民から集めた本を提供した。
まちフェス in 香南事業 ハロウィンウォーク	10/29	香南地区コミュニティ協議会	97人	関連行事で町内をウォークラリーで巡る一会場として参加者が立ち寄った。
デリバリーアーツ 「Bazz Five」	11/12	高松市文化芸術財団	115人	高松市文化芸術財団によるデリバリーアーツ事業で金管五重奏を行った。

槍・薙刀展関連行事 なぎなた・抜刀道の実演	11/13	日本美術刀剣保存協会香川県支部	130人	企画展関連行事として、郷土館庭園にて火縄銃の実演を行った。
使ってみよう！昔の道具～おもちつき～	2/26	香南町池西婦人会ほか	60人	昔の道具を使って、臼と杵を使った餅つき体験を行った。
拓本公開講座 拓本を体験しよう！	3/4	側瀬照明氏 (香南拓本会会長)	15人	拓本の実技を公開するとともに、採拓体験を行った。

c 出前資料館 参加者数 465人

事業名	開催日	参加者数	内容
民具展示 「香南わっしょい」	6/5	131人	デイサービス施設で市民の方を対象に石臼、唐箕など民具を展示し、実際に道具を触って紹介した。(場所：香南町しんしん企画)
香南こども園親子ふれあい教室 「土鈴をつくろう」	8/27	160人	香南こども園へ出前講座として親子で土鈴をつくる指導をした。
塩江コミセン歴史講座 「中山城山について」	10/1	20人	塩江コミュニティの歴史講座として中山城山について紹介した。(塩江町歴史資料館の開館にあわせて藤澤東暎・南岳と中山城山の関わりについて)
ふれあいトーク 「由佐家文書について」	10/22	12人	川部町(一丁地いきいきサロン)で市指定文化財「由佐家文書」をプロジェクター使用し紹介した。(場所：一丁地集会所)
讃岐国分寺跡資料館 歴史講座 「拓本の歴史と技法」	12/10	17人	香南拓本会により拓本の歴史の話と、実際に体験を交え文化財保存のために必要な技術を紹介した。
ふれあいトーク 「城山学習」	2/3	65人	香南小学校5年生(2学級)対象に郷土の儒学者「中山城山」をプロジェクターで紹介した。
槍・薙刀展関連行事 火縄銃の実演	10/30	60人	関連行事として、別会場にて火縄銃の実演を行った。(場所：香南町月見ヶ原公園)

(イ) 図書館等利用者数 4,672人

図書館利用 3,051人

貸館利用者 638人

クラブ活動利用者 983人

エ 資料収集

(ア) 常設展示資料(単位：点)

実物資料	レプリカ	映像	模型	合計
220	13	1	2	236

(イ) 平成28年度収集資料 寄贈 27点

(ウ) 平成28年度末収蔵資料内訳(単位：点)

歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	自然資料	その他	合計
3,590	407	8	120	126	365	4,616

(6) 讃岐国分寺跡資料館事業実績

特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図るとともに、歴史的意義等を説

明するため展示及び情報の提供・教育普及活動を実施した。

ア 平成28年度利用者数等

(ア) 総利用者数 22,109 人

(イ) 総観覧者数 4,089 人

イ 展示事業

(ア) 常設展 観覧者 4,089 人

(イ) 企画展 開催展数 5 展／開催日数 249 日間／観覧者数 3,559 人（上記内数）

展 覧 会 名	会 期	観覧者数	内 容
埋蔵文化財展 讃岐国府跡を探る 7	5/18～7/3 (41 日間)	514 人	県が実施した讃岐国府跡探索事業の発掘調査成果を紹介した。
東海道の国分寺跡 I ～友の会現地研修から～	6/30～9/25 (76 日間)	711 人	資料館友の会協力のもと全国の国分寺跡の内、東海道の国分寺跡について紹介した。
史跡まつり開催記念企画 展(天平文化倶楽部5周年記念 展)	9/27～11/20 (48 日間)	1,426 人	讃岐天平文化倶楽部の5年間の活動を紹介した。
香川県資料館協議会巡回 展守る・攻める 城と館	11/22～ 12/25 (30 日間)	402 人	香川県資料館協議会の巡回展として、県内の古城についてパネル展示した。
万葉の花 III	1/24～3/26 (54 日間)	506 人	万葉集に歌われた草花等の内、染色や繊維として使われた植物を中心に歌とともに紹介した。

ウ 教育普及活動

(ア) 延参加者数 984 人

a 一般市民を対象にした資料館講座を開催 参加者数 498 人

講 座 名	開催日	講 師	参加者数	内 容
ふるさと文化財探偵団	6/12～12/11 (計 5 回)	川染節江氏 (明善短期大学 元学長)ほか地 元協力者	延べ 121 人	天平衣装体験・草木染め体験 など、古代学習を通して、歴史 や文化を学んだ。 対象：小学4～6年生
伝統文化子ども箏教室	6/18～11/12 (計 24 回)	山本雅史麗 氏((財)生田流 正派邦楽会大師 範)	延べ 213 人	邦楽(箏)を通して、日本の伝 統文化を学び、史跡まつりで実 践発表を行った。 対象：小学5年生～中学生
歴史講座	12/10～3/4 (計 6 回)	①側瀬照明氏 (香南拓本会会 長) ②今岡重夫氏 (勝賀城保存会 会長) ③④⑤藤井雄 三氏(高松短期 大学講師) ⑥黒川英治氏	延べ 164 人	① 本の歴史と体験 ②ふるさとの山は今・勝賀城を 考える ③④⑤高松の文化財のあゆみ ③文化財とは ④古墳について ⑤絵図と刀(刀剣)について ⑥古の道を訪ねて(府中方面を 訪ねる・ウォーキング)

b 展覧会関連イベントほか 30人

講座名	開催日	講師	参加者数	内容
講演会 「五色台の遍路道」	10/15	川崎正視氏 (香川民俗学会 会員)	30人	史跡まつり開催記念講演会 「五色台の遍路道」について解 説いただいた。

c その他事業 参加者数 456人

事業名	開催日	参加者数	内容
讃岐国分寺跡資料館 友の会事業	4/21～3/10 (計12回)	351人	①講座:「萩の花 さきてありや」-大伴旅人- ②体験:史跡地への万葉植物植栽 ③講座:讃岐国府跡探索事業 ④展示:東海道の国分寺跡(監修協力) ⑤講座:四国遍路の調査からみえてきたもの ⑥清涼コンサート:ギター弾き語り ⑦史跡まつり関連事業:講演会 ⑧史跡まつり関連事業:史跡めぐりウォーク ⑨史跡まつりクイズラリー運営 ⑩現地研修:がぎろいの丘周辺を訪ねる(奈良) ⑪現地研修:世界文化遺産・国宝姫路城見学 ⑫現地研修:全国の国分寺跡を訪ねる(滋賀・近 江国分寺跡他)
讃岐国分寺天平文化倶楽 部事業	5/3～3/31 (計6回)	105人 (史跡まつり 内数除く)	①資料館事業天平衣装体験(資料館事業内数) ②国分寺北部幼稚園夏祭り着付け支援 ③国分寺南部校区運動会着付け支援 ④第17回讃岐国分寺史跡まつり天平行列(史 跡まつり内数) ⑤現地研修:坂出万葉会館他 ⑥万葉植物植栽

(イ) 史跡公園・資料館施設利用者

利用者数 17,036人(史跡まつり 5,500人・公園 10,144人・資料館施設利用 1,392人)

a 讃岐国分寺史跡まつり

事業名	開催日	参加者数	内容
第17回讃岐国分寺史跡まつり 「語り継がれし古の伝統」 (主催:史跡まつり実行委員会)	11/5	5,500人	国分寺が栄えた天平時代の知識を深め、こ の貴重な特別史跡を郷土の財産として住民の 手で保護し、人的・文化的交流の拠点として 啓蒙・啓発活動を行った。(天平行列、子ども 力餅大会、ヴィオリラ演奏ほか)

エ 資料収集

(ア) 常設展示資料(単位:点)

実物資料	レプリカ	グラフィック	映像	模型	合計
76	13	18	8	1	116

(イ) 収蔵品 考古資料 76点

(7) 菊池寛記念館事業

ア 常設展

(ア) 菊池寛の生涯と業績をグラフィック・解説映像により編年的に紹介するとともに、遺

品・生原稿・著書等を展示している。

(イ) 菊池寛の生家、上演戯曲舞台を模型で再現、東京の雑司ヶ谷の旧邸宅内の書齋を原寸復元し展示している。

(ウ) 「芥川賞」、「直木賞」、「菊池寛賞」、「菊池寛ドラマ賞」、「香川菊池寛賞」の受賞者及び受賞作品などを紹介している。

(エ) 菊池寛を初め、郷土にゆかりのある作家の著書、芥川賞・直木賞受賞作品や、その他大衆文学作品などが閲覧できる「研究閲覧室」を併設している。

(オ) 常設展実績

期間 平成 26 年 4 月 1 日～27 年 3 月 31 日 入場者数 6,908 人

期間 平成 27 年 4 月 1 日～28 年 3 月 31 日 入場者数 7,498 人

期間 平成 28 年 4 月 1 日～29 年 3 月 31 日 入場者数 7,093 人

イ 第 25 回文学展の開催（高松市・菊池寛顕彰会 共催）

事業内容	期間	入場者数
菊池寛記念館第 25 回文学展 企画展示「生誕 120 年記念 宮沢賢治」	9/17～10/16	2,206 人
文学展関連行事 特別講演会、NHK 高松放送局と連携した作品朗読会、アニメ上映会など	9/17～10/16	722 人
第 25 回文学展 記念講演会 直木賞作家・直木賞選考委員の林 真理子氏の講演「私の仕事から」及び林 真理子氏と菊池 夏樹名誉館長の対談	11/18	306 人

ウ 資料収集

菊池寛の遺品や寛に関する資料・図書及び菊池寛が創設した芥川賞・直木賞に関する資料・図書、その他関係資料の収集、保管及び展示を行うとともに、資料の調査研究に努め、菊池寛記念館の収蔵品の充実を図っている。

エ 菊池寛顕彰事業

(ア) 香川菊池寛賞（高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会 共催）

郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文学作品を募集し、優秀な作品に香川菊池寛賞を授与。

・第 52 回の応募作品数 50 篇

・受賞作品 入選作「歌人」三井 英美子 奨励賞「落書き」竹下 諄

(イ) 菊池寛ジュニア賞（高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会 共催）

「菊池寛」を顕彰するとともに、市内小・中学校の児童・生徒を対象に文芸の向上を図る目的で創設。生活作文・読書感想文（「寛学」事業で配布した菊池寛児童文学小学校版、文学作品集中学校版など菊池寛の著作物を推奨）・創作作品を対象に募集、選奨し賞を授与。

・第 25 回の応募作品数 小学校の部 143 篇（学校総数 31 校）

中学校の部 90 篇（学校総数 13 校）

・最優秀作品 小学校の部 「世界で一匹のぼくたちの犬「ココア」」 高嶋 柚希

オ 文化活動事業

(ア) 文芸講座の開催(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

地元文芸の振興を図るため、郷土で活躍されている方々を講師に迎え、毎月1回開催。

・期間 6月～3月(延べ10回)・参加者数 延べ人 729人

(イ) 文学探訪(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

中・四国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ねる。年1回秋に開催。

・開催日 10月24日 ・探訪地 高知県香美市方面 ・参加者数 22人

(ウ) 読書感想文講座

市内小学生を対象に、読書感想文の書き方を指導。夏休み期間中2回開催

・開催日 7月29日・8月4日 ・参加者数 40人

(エ) 「文藝もず」第17号発行

香川菊池寛賞受賞作の全文掲載、菊池夏樹名誉館長のエッセイなど各種寄稿を多数掲載。

(オ) 朗読劇「菊池寛劇場」の開催(高松市・菊池寛顕彰会 共催)

児童・生徒を対象とした菊池寛の作品等を朗読劇や語りで公演

・開催日 3月11日 ・公演作品「難破船」「うばすて山」ほか ・入場者数 130人

(カ) サンクリスタル学習

市内の小学生を対象に歴史資料館・菊池寛記念館・図書館による体験学習を行った。

・参加校数 34校 ・参加人数 2,891人

2 平成29年度事業実施予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
玉藻公園の管理運営	指定管理者(香川県造園事業協同組合)に委託して、効果的な管理運営に努める。	56,104	
埋蔵文化財調査事業 (試掘・確認調査)	市内の埋蔵文化財包蔵地等及び周辺地での開発事業に対応し、試掘調査等を実施して文化財保護に必要なデータを収集するとともに、史跡等において確認調査を実施して、史跡等の整備・公開活用に必要なデータ収集を行う。	21,442	
埋蔵文化財調査事業 (発掘調査)	県農業試験場跡地北側エリア、学校給食センター建設事業、都市計画道路高松海岸線建設、適応指導教室建設等の公共工事に伴う事前の発掘調査及び県農業試験場跡地北側エリア整備、市道仏生山町8号線建設、都市計画道路海岸線建設、栗林小学校校舎改築、林小学校校舎増築等に伴う整理作業を行う。	88,195 (事業課計上 予算)	一部繰 越 66,983

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	峰山にある石清尾山古墳群は、大規模な積石塚古墳として全国的に著名で国史跡に指定されている。一方、稲荷山(紫雲山)に所在する積石塚古墳群も同様の規模・内容を有し貴重であることから、28年度まで実施した確認調査の整理作業を行い、追加指定を目指す。また、国指定史跡である鶴尾神社4号墳の保存対策事業に必要な調査を実施する。	10,020	
史跡天然記念物屋島保存・整備事業	屋島活性化基本構想に基づき、史跡・名勝・天然記念物の各分野の調査を実施する。29年度は、北嶺山上の千間堂跡、浦生地区城壁の確認調査を行う。	4,917	
埋蔵文化財公開活用事業	市内に所在する埋蔵文化財の公開と活用を目的とし、連載講座の開催、パンフレット制作等を実施する。また、屋嶋城築城1350年シンポジウム及び関連イベントを開催する。	2,004	
史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存・整備事業	特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分尼寺跡の土地公有化を進める。	10,079	
高松城跡整備事業	桜御門復元整備を行うとともに、重要文化財披雲閣耐震補強に向けた耐震診断を実施する。	28,030	
文化財公開活用事業	市内外の文化財を訪ね歩く「ふるさと探訪」を年10回開催するとともに、小中学生の親子を対象にした「親子文化財教室」を開催する。	102	
四番丁スクエア管理運営事業	四番丁スクエアの施設管理とともに、埋蔵文化財センターの業務運営を行う。	9,676	
歴史資料館常設展・企画展等事業	歴史資料館等が所蔵する貴重な資料による常設展・企画展・収蔵品展を開催するとともに、資料館エントランスホールを利用したロビー展、学習室を利用した展示を行う。	5,241	
歴史資料館教育普及活動事業	複合館(中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館)の特色を生かし、施設利用と学習方法を学ぶサンクリスタル学習を実施するとともに、企画展に関連した講座やワークショップ、古文書講座を開催する。また、展示解説等の資料館事業をサポートする資料館サポーターによる活動を実施する。	4,433	
歴史資料館資料整備事業	本市の歴史・民俗・考古等に関する資料収集を行うとともに、ボランティアの協力による収蔵資料の解説とデータ化を進め、収蔵品情報システムの運用により、収蔵品データをインターネットで公開する。	1,847	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
石の民俗資料館 企画展・ホール展事業	歴史から文化芸術に至る幅広いテーマによる企画展を開催するとともに、地元文化協会との共催によるホール展を開催する。	1,841	
石の民俗資料館 普及活動事業	資料館講座・出前講座・古文書講座等を開催するとともに、石を使った工作教室を実施するなど、体験学習等の遊びを通して石と触れ合う機会を提供する。	84	
香南歴史民俗郷土館 企画展・講座等事業	歴史から文化芸術に至る幅広いテーマによる企画展を開催するとともに、企画展に関連した講座を開催し、夏休み期間中には子ども向けの講座を開催する。	1,026	
讃岐国分寺跡資料館 企画展・講座等事業	歴史を中心にしたテーマによる企画展を開催するとともに、子どもを対象に「ふるさと文化財探偵団」と題した古代体験講座、市民を対象にした歴史講座等を開催する。	486	
菊池寛記念館 文芸講座開催事業	地域文化の向上、文芸の振興を図るため、郷土で活躍されている文化人を講師に招き6月開講、毎月1回年10回の講座を開催。	81	
菊池寛記念館 読書感想文講座開催事業	小学生を対象に、菊池寛の児童読物を読んだ読書感想文の書き方を指導。夏休み期間中に2回開催。	17	
菊池寛記念館 菊池寛作品朗読劇開催事業	親子で菊池寛の作品に親しむとともに、文学に触れる機会のある場として、児童・生徒を対象に菊池寛の作品等の朗読劇を開催。	35	
菊池寛記念館 文藝もず発行事業	文化・文学の向上の発信元として、また記念館の館報の役割も担い平成12年から毎年刊行している。香川菊池寛賞受賞作及び菊池寛の児童読物、寄稿などの掲載を予定。 (第18号、約200ページ、400冊印刷)	248	
菊池寛記念館 菊池寛ジュニア賞受賞作品集作成・配布事業	前年度の菊池寛ジュニア賞の受賞作品を1冊の作品集にし、市内の各小・中学校、図書館等に配布。(約130ページ、400冊印刷)	184	
菊池寛記念館 第53回香川菊池寛賞事業	郷土が生んだ文壇の大御所、菊池寛を顕彰する事業として、また郷土の文化・文学の向上を図るため昭和40年に創設された。 毎年、文学作品を募集し、優秀な作品に対して香川菊池寛賞及び奨励賞を授与。	880	

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
菊池寛記念館 第26回文学展等開催事業 (企画展示、関連行事、 文学探訪、記念講演会)	<p>第26回文学展「没後90年 芥川龍之介—その青春と友情」を平成29年9月16日～10月22日に開催予定。芥川が文壇への足掛かりに仲間と創刊した『新思潮』や書簡、晩年の夏目漱石との往復書簡などを中心に、芥川の人生で最も輝いた青春時代と、それに対比した苦悩の晩年を紹介し、芥川龍之介の新たな魅力に迫る企画展示を構成。</p> <p>関連行事として、芥川研究者による特別講演会や芥川龍之介作品の朗読会、ミニ音楽コンサートなどを予定。</p> <p>文化活動事業の一環として文学にゆかりの地を訪ねる「文学探訪」を秋に開催予定。</p> <p>例年、芥川賞・直木賞受賞の著名作家による記念講演会を実施しているが、今年度は植村鞆音氏(直木三十五の甥)・吉川英明氏(吉川英治の長男)・菊池夏樹氏(菊池寛直孫)の3名による座談会形式の講演会「菊池寛を語る」を11月23日(木・祝日)にサンポートホール高松で開催予定。</p>	4,140	
菊池寛記念館 菊池寛顕彰会事業 (菊池寛ジュニア賞事業 など)	<p>菊池寛顕彰会は菊池寛が文芸界に貢献し文化の向上につくした偉大な業績を顕彰することにより、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業に取り組んでいる。</p> <p>特に、市内の小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に文芸の向上を図るため、文学作品を募集・選奨し、賞を贈呈している市と共催の「菊池寛ジュニア賞事業」は、児童・生徒の文学活動の発展に大きく寄与している。</p>	285	

〔スポーツ振興課〕

1 平成28年度事業実施状況

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

ア 生涯スポーツの推進

平成28年度は、幼児から高齢者まですべての市民が、いつでも、どこでも、気軽に楽しめる軽スポーツの普及や各種のスポーツ事業を後援した。

(ア) 主催、共催事業（28年度）

種 目	概 要	参加者 (人)
登 山 学 校	登山知識の講座	延べ 700
各 種 大 会 等	高松市50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会（5月） 高松スポーツカーニバル2015（5月） さわやかママさんバレーボール大会（6月） サンポート高松トライアスロン大会（7月） 市民遠泳大会（7月） 高松市民スポーツフェスティバル（9・10月） ・小学校区対抗競技大会・水泳競技大会・トリムの祭典 高松ファミリー&クォーターマラソン inAJI（10月） 高松市60歳以上男子スローピッチソフトボール大会（11月） さわやかママさんソフトボール大会（11月） 高松市さわやかドッジボール大会（12月） 高松アゼリアカップ高校選抜ソフトテニス国際大会（2月） 高松市ダイヤズーン・ボール大会（2月）	延べ 18,500

(イ) 後援事業

平成28年度は、第56回高松市民早朝野球大会や市民ハイキングなど102事業を後援した。

イ 情報の提供

「広報たかまつ」（毎月1日、15日号）や高松ケーブルテレビのスポーツコーナーで周知に努めたほか、報道機関への情報提供による広報など、多岐にわたる広報活動を展開し、効果的な情報提供に努めた。

ウ スポーツ施設の予約管理・案内

かがわ電子自治体システムを利用して、スポーツ施設の予約管理・案内のシステム化を図り、利用施設の窓口のみならず、公衆端末、インターネット、携帯サイト等による利用申込みを推進し、利用者の利便を図った。

エ 団体の育成

競技スポーツの振興や指導者の養成・資質の向上を図り、また、団体生活の中で健全な青少年を育成するなど、地域住民の健康づくりや地域のコミュニティづくりに寄与し、市民の健康・体力づくり運動を推進するため、それぞれの団体の育成を通じてスポーツの振興を図った。

(ア) 高松市スポーツ推進委員

スポーツ振興法に基づき、昭和37年に設置された。平成23年にスポーツ基本法が施行され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員に変更され、現在、校（地）区選出委員96人（欠員12人）、学識経験者6人、合計114人で構成している。

校（地）区選出委員は、各校区におけるスポーツ・体力づくりの中心的指導的存在で、その活動は市民の声の実践者として定着している。特に、学校体育施設開放事業（小学校）の推進者として地元と市とのパイプ役となり、自主管理運営方式を軌道にのせた功績は大きい。また、各種スポーツ・体力づくり運動の普及推進のため、大会、教室、講習会を市民の誰もが参加できるよう企画運営し、これらの活動を通じて、自主運営組織を次々に誕生させている。

(イ) 高松市体育協会（31団体）

体育を振興して市民体育の向上を図るため、昭和34年に設立。各種競技スポーツの振興、競技力向上に努めるだけでなく、指導者を育成し、資質の向上を図るとともに各団体が自主運営できるように指導している。

(ウ) 高松市地区体育協会（45団体）

地域住民団体の健康づくり、体力づくりを図り、地域のコミュニティづくりに寄与することを目的とする自主運営団体で、現在、45地区体協がある。

運営組織は、スポーツ・体力づくり関係団体のみならず、地区の各種団体（自治会、老人会その他社会教育関係団体等）で構成し、学校体育施設開放運営委員会と連携を保ちながら、地域住民のだれもが継続的にスポーツ・体力づくり運動ができるようなプログラムづくりに努めている。

(エ) 高松市体力づくり市民会議（17団体）

市民の健康・体力づくり運動を推進して、健康福祉都市を建設することを目的に、昭和51年に体力づくり関係団体の代表者をもって設立。体力づくりの指導者や団体の育成に努め、目的達成のための各種事業を展開している。

(オ) 高松市スポーツ少年団（180団体）

東京オリンピック開催を記念して、昭和39年に設立されたもので、日常の団体生活の中で健全な青少年を育成するとともに、地域における青少年を中心とした住民スポーツの組織を作ることを目的としている。高松市では、昭和39年に設立、現在、180団体で、男子団員2,010人、女子団員1,034人、計3,044人、指導者942人が登録している。

オ 指導者の養成

指導者の養成・活用を図るため、平成6年度に「高松市スポーツリーダーシステム整備計画」を策定し、7年度から3カ年計画でシステム整備を行った。スポーツリーダーシステムができ、10年余り経過したことにより、平成22年、23年にかけて高松市スポーツ推進審議会において見直しを行い、平成24年度からは次の項目を中心に、指導者の養成に努めている。

(ア) 現有リーダーに対する知識・技能の向上……スポーツ推進委員等への研修事業の実施

(イ) リーダーの後継者の育成……地域スポーツリーダー養成教室の開催

また、平成28年度からは、「高松市スポーツ推進計画（28年3月策定）」に基づき、市民一人一人が、年齢や体力などに応じて、スポーツに親しむことができるよう、一定の資格を有したスポーツ指導者を登録するとともに、効果的に活用するシステム「高松市アドバイザースポーツシステム（通称：TASS（タス）」を、高松市体育協会との連携により構築に取り組んでおり、認定指導者講習会（4回開催）の受講修了者121人をTASS認定指導者として登録した。

(2) スポーツイベントの振興

市民のスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機運の醸成を図るため、国際的・全国的な大会などスポーツイベントの振興に努めた。

ア 国際・全国大会の開催

国際的・全国的なスポーツ大会を開催し、スポーツ人口の増加と競技力向上を図る。

(ア) サンポート高松トライアスロン大会

期 日 平成28年7月3日

会 場 サンポート高松周辺

参加者数 584人

(イ) 第30回高松アゼリアカップ高校選抜ソフトテニス国際大会

期 日 平成29年2月11日～12日

会 場 高松市総合体育館

参加者数 約400人

イ 高松市民スポーツフェスティバル

本市の中核的スポーツ団体の協力を得て、市民が生涯にわたり健康増進と体力づくりができるよう、市民総参加型のスポーツフェスティバルを開催した。

事業内容としては、各小学校区の代表選手による「校区対抗競技大会」、市を6つのブロックに分けた対抗戦である「水泳競技大会」のほか、市民の誰もが気軽に参加できる「トリムの祭典」を実施した。

ウ ファミリー&クォーターマラソン in A J I

期 日 平成28年10月

会 場 庵治町

参加者数 約1500人

(3) スポーツ・レクリエーション施設の整備・管理運営

ア スポーツ施設

平成18年4月から指定管理者制度を導入し、現在、体育館、グラウンド、庭球場、プールなど48施設において、高松市スポーツ振興事業団が、平成17年12月から健康増進温浴施設ループしおのえにおいて、シンコースポーツ(株)・四電ビジネス(株)が、平成29年4月から屋島レクザムフィールドにおいて、四電工グループ(株式会社四電工・太平ビルサービ

ス株式会社・長谷川体育施設株式会社)が、それぞれ指定管理者として管理運営を行っている。

また、スポーツ施設の使用料については、平成17年度の近隣6町との合併により、旧市内の施設と合併町の施設において料金の格差があるなどの課題があったことから、平成22年6月議会において、高松市スポーツ施設条例等の一部改正を行い、受益者負担の原則と公平性の確保の視点に基づき、施設の維持管理費や近隣施設の料金水準等を勘案する中でスポーツ施設使用料等の見直しを実施した。新料金は、平成23年4月から適用している。

なお、平成27年4月から使用料が指定管理者の収入となる利用料金制を導入している。

また、屋島陸上競技場については、平成20年4月1日に香川県から移管を受け、管理運営を行っていたが、施設の老朽化が著しく、耐震性など安全面に問題があることから、平成24年10月末をもって閉場し、再整備工事を行っていたが、平成29年3月に完成し、平成29年4月23日にリニューアルオープンした。

ヨット競技場については、築後45年が経過し、老朽化していることから、本市のマリンスポーツの拠点等として、平成27年度から再整備工事に着工し、平成29年度末の完成を目指している。

南部地域スポーツ施設(仮称)については、平成27年度に実施設計を行い、平成29年末の完成を目指し整備を続けている。

イ 学校体育施設開放事業

この事業は、昭和40年、子どもたちに安全な遊び場を提供しようとの配慮から四番丁小学校において実施。これが契機となって、昭和44年春から市街区域の4小学校を開放し、逐次指定校を増し、現在では市内全小学校となっている。

一方、一般市民のスポーツ振興をねらいとする学校体育施設開放事業としては、昭和50年に、「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で開放するとともに、中学校については、地域性、施設面積等を勘案して市教委直属の指定校方式でこの事業を推進している。

平成28年度開放状況は、小学校55校、中学校15校となっている。

(ア) 市内小学校の体育施設開放

各校区において学校体育施設開放運営委員会が設置され、自主的に運営。

(イ) 中学校及び高等学校の体育施設開放

市教委の登録を受けたグループを対象に、抽選方式により、市教委運営。

2 平成29年度事業実施予定

事業名	事業の内容	予算額 (千円)	備考
高松市民スポーツフェスティバル事業	本市の中核的スポーツ団体の協力を得て、市民が生涯にわたり健康増進と体力づくりができるよう、市民総参加型のスポーツフェスティバルを開催する。事業の内容としては、各小学校区の代表選手による「校区対抗競技大会」、市を6つのブロックに分けた対抗戦である「水泳競技大会」、市民の誰もが気軽に参加できる「トリムの祭典」を実施する。 なお、当該事業の一環であった庵治半島折り返しをコースとする「ファミリー&クォーターマラソン in A J I」については、28年度から単独事業として実施している。	6,900	
障がい者スポーツ推進事業	障がい者のスポーツ推進を図るため、本市スポーツ施設の環境整備や中国・四国パラ陸上競技大会を開催、また、30年度開催予定の日本パラ陸上競技選手権大会を踏まえた視察、審判講習会を実施する。	1,992	
地域密着型トップスポーツチーム支援事業	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチームを支援する。	15,629	
学校体育施設開放推進・整備事業	市民の体力づくりと健康の増進を図るため、市民が身近に利用できるスポーツ・レクリエーションの場として、学校の体育施設を学校教育活動に留意する中で開放する。 合わせて、学校体育施設を開放するため設置しているナイター照明等を維持修繕する。	30,576	
スポーツ施設管理運営・整備事業	市内の48施設については、(公財)高松市スポーツ振興事業団、健康増進温浴施設「ループしおのえ」については、シンコースポーツ(株)・四電ビジネス(株)グループ、高松市屋島競技場については、四電工グループ(株式会社四電工・太平ビルサービス株式会社・長谷川体育施設株式会社)を指定管理者として指定し、利用者の利便性の向上と施設の利用促進に努め、市民スポーツの振興・充実を図る。合わせて、施設の老朽化等に伴う改修工事等を行う。	842,972	
ヨット競技場施設整備事業	築後45年が経過している艇庫やクラブハウス等の改修工事を行うもの。平成26年度に取りまとめた実施設計をもとに、平成29年度末の完成を目指し整備を進める。	224,679	

事業名	事業の内容	予算額 (千円)	備考
スポーツ施設予約管理・案内事業	市民の健康増進と体力づくりを支援するため、各種の情報提供や施設予約管理機能を有する「かがわ電子自治体システム施設予約申込サービス」を利用したスポーツ施設の効果的な予約管理・案内に努める。	12,057	
屋島競技場イベント開催費	4月23日にリニューアルオープンした屋島競技場（屋島レクザムフィールド）において、オープン当日にはアスリートスクールや屋島山頂ウォーキング等のイベントを開催した。また、オープニング年度内の事業として、5月14日には屋島GENPEIリレーマラソンを開催。更に、高松市長杯高松室内陸上競技大会やドリーム・サッカーを開催する予定である。	5,968	
南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備事業	南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備については、平成27年度に行った実施設計に基づき、平成29年度末の完成を目指し整備を進めている。	318,965	

〔美術館美術課〕

1 平成28年度事業実施状況

(1) 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 147,026 人

ア 展覧会

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

(ア) 展覧会実績

- a 開催展延数 63 展（貸館を含む。）
- b 開催延日数 775 日間
- c 入場者延数 121,783 人（1日平均 157.1人）

(イ) 特別展（主催展）

- a 開催展延数 6 展
- b 開催延日数 192 日間
- c 入場者延数 40,495 人（1日平均 210.9人）

展 覧 会 名	会 期	日数	入場者数 (人)
瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 リニューアルオープン記念 高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの「現代アート」	3/26(土)～4/17(日) (但し、3/31まではH27年度会期)	17日	3,302
オランダ・エッシャー財団所蔵「エッシャーの世界」	4/23(土)～5/29(日)	32日	12,199
瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 ヤノベケンジ シネマタイズ	7/16(土)～9/4(日)	51日	13,401
瀬戸内国際芸術祭 2016 連携事業 高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.05 展	10/8(土)～11/6(日)	30日	2,666
奇才・ダリ版画展	11/12(土)～12/18(日)	32日	6,693
北原千鹿展	2/21(火)～3/26(日)	30日	2,234
		192日	40,495

(ウ) 常設展

美術館の所蔵品の中から、毎回テーマを設定して展示替えを行った。

- a 常設展示室1（現代の美術）
戦後の日本の現代美術、これに関連する20世紀以降の世界の美術を順次展示した。
- b 常設展示室2（讃岐漆芸と金工）

玉椿象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示した。

c 開催状況

開催展延数 5展 開催延日数 291日間 入場者延数 22,492人(1日平均77.3人)

(エ) 共催展

a 開催展数 1展

b 開催延日数 10日間

c 入場者延数 3,171人(1日平均 317.1人)

イ 貸館

(ア) 貸館実績

a 一般・企画展示室

開催展数 14展 開催日数 62日間 入場者数 26,633人(1日平均 429.6人)

b 市民ギャラリー

開催展数 37展 開催日数 220日間 入場者数 28,992人(1日平均 131.8人)

ウ 講演会・美術講座等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やギャラリートーク、パフォーマンス等を開催した。また地元講師や県外講師を招いたワークショップ、小学生を対象とした鑑賞プログラム「アートで遊ぼう!」、新設された「こども+ (こどもアートスペース)」においてアートプログラムを開催するほか、出前講座や学校との連携などアウトリーチに努めた。

(ア) リニューアルオープン記念事業

開催日	出演者	内容	場所	参加者数
4/2(土)	柿崎麻莉子	コンテンポラリーダンス公演「箱庭」	エントランスホール	161人

(イ) 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数
4/2(土)	篠原資明(当館館長)	新しみつつ振りかえる現代アート	30人
4/29(金)	安田恭子(佐世保市博物館) 島瀬美術センター館長	エッセイ その作品と生涯	60人
5/28(日)	野坂悦子(翻訳家・作家)	エッセイの国、絵本の国、オランダ	80人
8/7(日)	ヤノベケンジ(美術家) 南正邦(彫刻家)	・人生は映画のように 129人 ・ヤノベケンジ×矢延平六 リサーチプロジェクト 70人	199人
10/8(土)	アニュアル展全出品作家 篠原資明(当館館長) 藤浩志(本展アドバイザー)	アーティスト&アドバイザー・トーク I	30人

10/30(日)	家成俊勝・土井亘(ドットアーキテクト/出品作家) 木ノ下智恵子(本展アドバイザー)	アーティスト&アドバイザー・トークⅡ	25人
11/27(日)	速水 豊 (三重県立美術館館長)	サルバドール・ダリ ー 絵画の彼岸	45人
2/25(土)	樋田豊次郎 (東京都庭園美術館館長)	昭和モダニズムと千鹿	60人
参加延べ人数			529人

(ウ) 館長講座「まぶさび教室」

平成28年度より、館長講座を開講した。

開催回数 5回 参加延べ人数 245人

(エ) ギャラリートーク(当館学芸員等による)

a 特別展 開催回数9回 参加延べ人数 258人

b 常設展 開催回数6回 参加延べ人数 107人

(オ) ワークショップ

開催月日	講師	内容	対象	場所	参加者数
4/10(日)	田中梨枝子 (ミュージアム・エデュケーター)	こども+開室記念WS	参加自由	エントランスホール	70人
5/5(木)	南正邦(彫刻家)	立体トリックアートに挑戦! エッシャーの錯覚をつくる?	小学生	3階 講座室3・4	15人
5/28(土)	野坂悦子 (翻訳家・作家)	オランダ帽子を作ろう!	3歳~小学生 (未就学児は保護者同伴)	中2階 こども+	14人
8/6(日)	ヤノベケンジ (美術家) 南正邦(彫刻家)	水の神様をつくろう!	小学3年生~ 高校生	3階 講座室3.4	15人
10/8(土)	ツアーアーティスト:流麻二果、ドットアーキテクト、谷澤紗和子、 来田広大 ナビゲーター:田中裕人(一時画伯代表)、協力:一時画伯	アーティストによる、 中学生のためのアート・ツアー 「一時画伯」	高松市立下笠居中学校、高松市立紫雲中学校、香川大学教育学部附属高松中学校	2階展示室	15人
10/8(土)	伊藤隆介 (出品作家)	手描きのアニメを作ろう!	小学生~大人	3階会議室	11人
10/9(日)	来田広大 (出品作家)	公開制作+ ワークショップ 鳥の目になって 地図を描く	参加自由	1階 エントランスホール	35人

10/30(日)	ドットアーキテクト (出品作家)	EXPLORING THE CITY	小学生～大人	3階講座室他	8人
12/11(日)	アトリエ凹凸	銅版画 ワークショップ	中学生以上	3階講座室	18人
3/5(日)	山下晴義 (金工家)	彫金でペンダントを 作ろう！	小学5年生以上	3階講座室	19人
3/11(土)	モーネ工房 (井上由季子、 井上正憲)	コミュニケーション ワークショップ ありがとうを伝える カード	中学生～大人	1階講堂	35人
3/11(土)	モーネ工房 (井上由季子、 井上正憲)	コミュニケーション ワークショップ よきよき木のカ レンダー	未就学児～小学生	中2階 展示ロビー	24人
3/26(日)	浅野有紀 (日本画家)	はじめての日本画	小学4年生～大人	3階講座室	16人
参加延べ人数					295人

(カ) 子どものアトリエ

開催月日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数
5/8(日)	井本英樹 (美術作家)	不思議なビー玉迷路	小学生以下の親子	3階 講座室3・4	18人
8/27(土)	太田絵美子(芸術 士)、松尾由美(芸 術士)	こどもりゅうに 変身！	3歳～小学3年生	こども+、 中2階 展示ロビー	16人
10/9(月)	谷澤紗和子 (出品作家)	光のどうぶつ	5歳児～大人 (未就学児は 保護者同伴)	1階講堂	25人
参加延べ人数					59人

(キ) アートで遊ぼう！

鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、ゲームや遊びを取り入れながら、当館職員とともに美術作品を鑑賞した。

	開催月日	講師	内容	場所	参加者数
前期	5/3(火)	当館学芸員ほか	エッシャーの世界	3階講座室2	11人
	6/4(土)	当館学芸員ほか	第1期常設展	こども+	10人
	7/23(土)	当館学芸員ほか	ヤノベケンジ シネマトイズ	3階講座室3・4	12人
後期	10/22(土)	当館学芸員ほか	高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol.05	2階展示室、 こども+	3人
	11/26(土)	当館学芸員ほか	奇才・ダリ版画展	2階展示室、 こども+	10人
	12/24(土)	当館学芸員ほか	4期常設展	2階展示室、 こども+	8人
番外編	5/24(火)	当館学芸員ほか	はじめてアート エッシャーの世界を体験！	こども+	6人

	H29年 3/25(土)	当館学芸員ほか	北原千鹿展	2階展示室、 講座室	12人
参加延べ人数					72人

(ク) ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより新設された「こども+ (こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。毎週木・土曜日の12:00から16:00まで開設し、延べ804人(対象:小学生以下、参加費:無料)が参加した。

(ケ) 出前講座

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数
7/31(日)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	香西校区 新田自治会場	28人 (子ども含む)
8/8(月)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	浅野放課後 児童クラブ	57人 (子ども含む)
9/15(木)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	多機能ホーム ヒマワリ	13人
10/7(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	一丁地集会所	10人
12/13(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	老人介護 支援センター なでしこ香川	12人
2/21(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう!	高松市民病院 精神科デイケア	4人
参加延べ人数				124人

エ 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナー、こども+(こどもアートスペース)を一般利用者に開放した。

(※有人開室日のみ)

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	146回	3,126人
講座室	687回	9,508人
美術図書コーナー	227日	3,647人
こども+(こどもアートスペース)	144日(※)	1,776人(※)

オ 美術資料の収集

<美術品>

(単位 点)

区 分	洋 画	日本画	彫 刻	工 芸	書	計	
平成 28 年度購入	4	—	—	—	—	4	
平成 28 年度寄贈	7	—	—	9	—	16	
平成 28 年度合計	11	—	—	9	—	20	
累 計	777	46	251	523	16	1,613	
内 訳	購入	631	24	223	390	12	1,280
	寄贈	146	22	28	133	4	333

<図 書>

(単位 冊)

区 分	購 入	寄 贈	除籍	計	累 計
美 術 図 書	453	182	—	635	30,988
展 覧 会 図 録	—	515	—	515	17,581
合 計	453	697	—	1,150	48,569

カ 美術作品解説ボランティアの設置

市民の美術活動と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティア c i v i (シヴィ) の活動を支援した。

ギャラリートーク開催実績 開催回数 83回 参加人数 1,258人

キ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。6月8日から12月6日まで、参加校：8小学校 延べ人数：666人(引率者を含む)(参考：サンクリスタル学習以外の美術館学習 参加校24校、延べ1,004人)

ク 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習の実施については、東北芸術工科大学ほか5大学から博物館実習生6人を受け入れた(8/2～8/7)。また、インターンシップ実習生4人(8/15～26日)、高松短期大学からの依頼による学生ボランティア8人(7/23、8/6、10/15)をそれぞれ受け入れた。なお、中学生の職場体験として、高松市立太田中学校ほか6校から延べ17人の中学生を受け入れ、美術館の仕事全般を体験してもらった。(9月～平成29年1月)

ケ 美術館の日

「美術館の日」(8月第1土曜日 8月6日)に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者1,209人、ミニコンサート鑑賞者144人、展示室での鑑賞を促す鑑賞カード利用者353人、ふらっとアート参加者246人

コ 芸術的催物

(ア) ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

ミニコンサート等開催回数 6回 参加述べ人数 604人

(イ) 美術館友の会との共催によるコンサートの開催

友の会ふれあいコンサート 2回 参加述べ人数 268人

サ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数
7/23(土)	高松市立桜町中学校 香川大学附属高松中学校 高松大学の生徒・学生、職員	特別展「ヤノベケンジシネマタイズ」を鑑賞し、新聞紙を使って放射能防護服を制作するワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	3階 講座室3・4	20人
8/6(土)	博物館実習生、 高松短期大学の学生、教員	「美術館の日」のイベント(ミニコンサート、スタンプラリー、ふらっとアート、ワークショップ)の運営補助。	1階講堂 中2階 こども+ 3階講座室	21人
10/8(土)	高松市立下笠居中学校 高松市立紫雲中学校 香川大学附属高松中学校の生徒、教員	特別展「高松コンテンポラリーアニュアルVol.05」の出品作家による解説を交えたアートツアーを行った。	2階展示室	15人
10/8(土)	高松市立下笠居中学校 高松市立紫雲中学校 香川大学附属高松中学校の生徒、教員	特別展「高松コンテンポラリーアニュアルVol.05」の出品作家伊藤隆介による手描きのアニメを作るワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	3階会議室	15人
10/22(土)	鑑賞教育に関心のある 教師の方々 小学校図画工作担当教師 中学校美術担当教師 美術館学芸員など	・特別展「高松コンテンポラリーアニュアルvol.05」見学。 ・こどもアートスペースにて作品鑑賞をふまえた作品制作。 ・意見交換会。	2階展示室 中2階 こども+	1人
3/25(土)	高松市立 高松第一中学校の 生徒、教員	特別展「北原千鹿展」の作品をスケッチしてモビールを作るワークショップを行った。参加者(小学生)の制作補助スタッフとして活動。	中2階 こども+	13人
参加延べ人数				85人

シ 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗(147店舗)で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。また、平成25年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。

ス 美術館友の会イベント

友の会スペシャルイベントとして、美術館主催の特別展に併せて、トークショーやワークショップ等を開催した。開催回数7回、参加延べ人数366人

(2) 高松市塩江美術館

高松市塩江美術館の利用者数 14,614人

ア 展覧会

美術館企画展及び常設展を開催するとともに、貸館として企画展示室及びホールを、美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

(ア) 展覧会実績

a 開催展延数 11展 (内訳 企画8展・常設3展)

b 開催延日数 552日間

c 入場者延数 13,001人 (1日平均23.5人)

(イ) 企画展

開催展数：8展 開催日数：255日間 入場者数：6,283人 (1日平均24.6人)

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
【27年度～】 讃岐の情景展	2/27(土)～ 4/10(日)	9日 ※	288人 ※	江戸から昭和にかけて描かれた讃岐の名所・旧跡を題材とした5人の版画作品33点を紹介。
1 貴志 勉 —土のしごと—	4/16(土)～ 5/29(日)	38日	723人	“土を焼く”行為に意味を探し続ける東かがわ市在住の陶芸家貴志勉が土の持つ様々表情を表現した作品を15点を紹介。
2 玉木かつこ展 —Silentscape—	6/7(火)～ 7/18(月)	37日	764人	鉄と透明樹脂を主な素材としそこから生み出される存在感や目にみえない時間・空間を表現した作品17点を紹介。
3 LANDSCAPE —徳島彫刻集団と香川との交流—	7/26(火)～ 9/4(日)	36日	1,163人	徳島で戦後すぐに屋外彫刻展を展開してきた彫刻集団と香川の作家22名による交流展を開催。
4 上西竜二展 —Trial and Error—	9/10(土)～ 10/16(日)	32日	777人	本物と見間違ふほどのリアリティがある作風で描く岡山県在住の画家上西竜二の超写実世界を紹介。
5 かがわ・山なみ芸術祭2016 —塩江町エリアー「時と共に」	10/29(土)～ 11/13(日)	14日	556人	第2回開催の山なみ芸術祭塩江エリアの参加作家の作品を紹介。期間中にイベントも開催。
6 生誕100年 市原輝士 —伝承—展	12/3(土)～ 1/22(日)	39日	1,038人	郷土史家として活動した故市原輝士の遺族の協力のもと残された資料などからその足跡を紹介。
7 塩江美術館コレクションより 日本の風景美展	1/28(土)～ 2/26(日)	26日	669人	当館コレクションから水彩を用いて、透明感のある表現で描いてきた香川県出身の伊東義久による水彩画作品30点を紹介。
8 春色-DIARY-展	3/4(土)～ 4/9(日)	24日 ※	305人 ※	香川県出身の作家が描いたやわらかく、晴れやかで、すがすがしい「春」を連想させる作品を館蔵コレクションから紹介。

※前年度または次年度開催 (日数区切り)

(ウ) 常設展

美術館の所蔵品のうち、熊野俊一氏の寄贈作品を中心に他の郷土作家などとともに年間3回の展示替えを行い、作品を展示した。

開催状況 展示替え 3回 開催日数 297日間 入場者数 6,718人 平均 22.6人

イ 美術講座

陶芸教室、風鈴作り教室に加え、企画展に合わせたワークショップ等11講座を開講した。

(延べ308人参加)

ウ 美術館の日

美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施し、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

入館者数及びワークショップ参加者 321人

エ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。(343人)

タイトル	開催月日	料金	内 容	入場者数
音楽ライブ	7/3(日)	無料	尺八とバンジョー、スティールパンの楽器による音楽ライブ。 出演：Daniel Ryudo、Guy Christopher Wulfing、前田多映、横田尚美	64人
《室内コンサート》 フルートとピアノによる 音の風景画	12/28(水)	展覧会 観覧料	展覧会関連イベントで、フルートとピアノの親子競演によるコンサート。 出演：大山まゆみ、大山宙透	84人
《屋外コンサート》 音浴 BOSSA	9/24(土)	無料	塩江温泉感謝祭実行委員会主催によるボサノバコンサート。前庭芝生にて演奏 出演：フェリアート、SAPATOS	195人

オ 施設の提供

美術館の企画展示室・ホールを作品展示の場として利用に供した。

施設名	利用件数	利用人数
企画展示室/ホール	2回	641人

カ 美術資料の収集

(単位 点)

区 分	洋画等	日本画	彫 刻	工 芸	書	その他	計
平成28年度 購入	—	—	—	—	—	—	—
平成28年度 寄贈	17	—	—	—	—	—	17
累 計	665	7	10	13	119	451	1,265
購入	46	0	4	7	0	1	58
寄贈	619	7	6	6	119	450	1,190

*その他 (写真・熊野俊一資料・藤澤東暎関連書籍・芸術祭作品)

2 平成29年度事業実施予定

事業名	事業の内容	予算額(千円)
展覧会開催事業	高松市美術館において、特別展、常設展を開催して、国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を設け、学芸員や美術作品解説ボランティアが作品を解説するとともに、親しまれる展覧会とするため、講演会等を実施する。また、塩江美術館においても、企画展、常設展を開催して、地元ゆかりのアーティストの作品を鑑賞する機会とともに、親しまれる美術館として、学校訪問ワークショップなどを実施する。	64,607
高松市美術館開館30周年記念事業	平成30年度の開館30周年記念事業の準備として、プレシンポジウムの開催や打ち合わせを行うとともに、外国語対応の環境を整える。	627
ミュージアムコンサート開催事業	高松市美術館、塩江美術館において、特別展等に関連したミニコンサート等を開催する。	58
「子どものアトリエ」開催事業	小・中学生を対象として、美術作家等による造形的なワークショップや地域性を生かした講座を開催し、美術的感性と創造性の涵養を図る。	157
美術教育普及事業	活躍めざましい美術作家を講師にしたワークショップを開催し、市民の芸術への関心と認識を深める。また、小・中学生を対象に、美術館学習などの機会を利用して鑑賞授業を実施するほか、「こども+」において未就学児はじめ世代を超えた教育普及プログラムを展開する。	1,194
美術資料収集事業	高松市美術館では、美術品等取得方針に基づき優れた美術品等を系統的に収集する。また、美術図書などの二次資料を継続的に収集するとともに、広く公開しその活用に努める。また、塩江美術館においても県出身で県内外にゆかりのある作家などの作品を収集していく。	12,776
「アートで遊ぼう！」開催事業	児童生徒の美術鑑賞力向上と美術館利用の動機付けとするため、展覧会と関連した子ども向け鑑賞教室を実施する。	—
「美術館の日」事業	市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。	—

事業名	事業の内容	予算額(千円)
「高松市美術館サポートショップ」事業	商店街等周辺店舗と連携し、参加店舗で様々な特典が受けられ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。	—